

次世代人材育成事業 ワークショップ運営業務委託仕様書

1 適用範囲

本仕様書は、次世代人材育成事業 ワークショップ運営業務の企画提案募集及び委託する場合において適用される主要事項を示すものであり、業務委託契約書に添付する仕様書は、委託候補者が決定したうえで協議し、別途作成する。

2 業務の名称

次世代人材育成事業 ワークショップ運営業務委託

3 契約期間

契約締結日から令和9年2月26日（金）まで

4 事業の背景、目的

高齢化の進行に伴う人材不足は企業活動全般に影響を及ぼすリスクとなっており（※1）、新潟県においても経営者の高齢化が進んでいる（※2）。こうした中、企業の持続的な発展に向けては、次世代経営者へ円滑に移行できる環境づくりが重要となっている。また、県内企業の多くが事業承継を経営課題として認識しており、とりわけ後継者の育成や決定に課題を抱えている傾向が見られる（※3）。

これらを踏まえ、本事業では、新潟経済の次世代ビジネスリーダー（起業関心者、社内起業者、会社後継者、若手経営者・マネージャー層、スタートアップを志す人など）を対象に、講義およびワークショップ形式のプログラムを通じて、リーダーシップの基盤となるノウハウ・スキル・マインドの習得と、ネットワークづくりを支援する。

本プログラムは、多くの次世代経営者向け事業が「事業アイデアの創出」を主目的としているのに対し、「次世代リーダーの育成」に重点を置く点を特徴とする。令和4年度の「ビジョン創出」、令和5年度の「事業計画策定」、令和6年度の「ブランディング検討」、令和7年度の「データ分析と意思決定」といったテーマのもと、段階的に経営に必要な能力の強化を図ってきた。

近年、生成AIの進展により、企業活動における意思決定の在り方は変化しつつある。データの収集・分析から示唆の抽出までをAIが補完することで、従来は経験や勘に依存していた判断を、より迅速かつ客観的に行うことが可能となってきている。一方で、AIを活用するためには、適切な問いの設定や出力結果の解釈など、人間側の実践的な力が不可欠である。

また、令和7年は「AI エージェント元年」とも称され、AIの活用が企業規模を問わず広がりつつある。こうした状況を踏まえ、令和8年度は「AIを活用したデータ分析による意思決定」をテーマとし、複雑で不確実な経営環境の中でも質の高い意思決定を行うための実践力の育成を図る。

- ※1 株式会社東京商工リサーチ_TSR データインサイトより
https://www.tsr-net.co.jp/data/detail/1198881_1527.html
- ※2 新潟県の社長平均年齢は 63.35 歳で全国平均を 0.86 歳上回る
 (出所：2020 年 東京商工リサーチによる調査)
- ※3 事業承継で「後継者育成」に苦勞している 45.8%
 事業承継で「後継者育成」に苦勞しそう 57.7%
 (出所：2020 年 帝国データバンク新潟支店による調査)

5 業務の内容

上記目的を達成するため、下表の段階に沿って、以下のとおり (1) から (3) の内容を実施するとともに、付随する (4)、努力目標として (5) についての業務を委託する。

連続ワークショップは基調講演を含めて全 4 回程度 (各回 3 時間半程度) とし、その後の伴走支援により、ゴールは参加者がデータ分析による意思決定の行程において、AI ツールを適切に取り扱い、自社の状況に応じた適切・効果的な判断ができるようになっている状態を目指す。

なお、本事業全体に係る企画・提案等については、受託者の提案内容を基に事務局 (公益財団法人新潟市産業振興財団) との調整のうえ実施するものとする。

第 1 段階	(1) テーマ「データ分析における AI 活用の考え方」に沿い、以降のワークショップの道筋となることを目的とした基調講演 (特別講師を招聘) の開催
第 2 段階	(2) 講義、ケーススタディを用いたリアルワーキング形式の「AI を活用したデータ分析・意思決定」を学ぶ実践的な連続ワークショップの実施、 (3) 交流会の実施
第 3 段階	(4) プログラム内で学んだ内容を自社に活かす過程を支援
付随業務	(5) 本事業に関する広報・募集活動 (6) アンケート
努力目標	(7) その他 事業目的の達成に資する独自企画 新潟市・県で開催される関連事業との連携

※本仕様上の以下に記載する、回数、人数については、その一例を示すものである。

[第 1 段階] (1)

<第 1 回：基調講演、連続プログラム説明会、交流会の開催>

- ・テーマ「AI を活用したデータ分析・意思決定」に沿った特別講師を招聘、基調講演
- ・基調講演の内容は以降のプログラムの道筋となる内容とする。
- ・今後の連続プログラム内容の概要についての説明会を実施

[第 2 段階] (2)、(3)

<第2～4回：講義、ケーススタディによるリアルワーキング形式のワークショップ>

- ・ AI を活用したデータ分析についての理解を深める講義、可能な限り共通のケーススタディ*を用いた意思決定のプロセスについて学ぶワークショップを開催する。(3回程度)
 - * ケーススタディについては、地域課題の解決に繋がるようなテーマを設定すること
(例：令和6年度、令和7年度 新潟 IPC 財団「Ride the WAVE」)
- ・ 講義においては、AI の利用にあたってのリスク喚起、データ活用の目的設定について理解を深める内容を含める。
- ・ ワークショップにおいては、終了後、講義で学んだ内容を自社に持ち帰って実装できる状態を見据え、無料版 AI ツール (例：chatGPT,Gemini,Claude) 等、ワークショップ内で参加者が利用できるツールを用い、実践形式で演習を行う。
- ・ 各回終了のタイミングでその回を振り返り、自社へ活かすためのワークシートを作成させ、持ち帰って実践できるような状態に持っていく。
- ・ 第4回で自社の課題を抽出・発表し、その後の伴走支援で課題解決を目指す。
- ・ 参加者交流会 (リアル開催) を実施
(参加者が自社課題解決のための参考・相談相手として、他社の参加者との交流を促すことを目的とする)

[第3段階] (4)

- ・ 参加者がプログラムで学んだ内容を自社に持ち帰り、実装・自走できる状態を目指し、伴走支援をする。(本事業における「実装」とは、AI を活用したデータ分析により自社の課題を抽出・整理し、その結果をもとに課題解決に向けた具体的なロードマップを自分の力で作成できる状態。)
(例) 外部専門家同伴のもと合同勉強会の実施、外部専門家派遣 等
(支援は2回以上実施・5~10者程度支援可能な形式を想定)

【付随業務】

(5) <本事業に関する広報・募集活動>

①本事業が対象とする地域の企業の参加を促すため、広報・集客用のチラシ (PDF データ、AI データにて高画質版 (印刷用) 及び低画質版 (ホームページ掲載用) の2種類) を作成し、効果的な時期に周知及び配布し、セミナー内容や事例等の情報発信を行うことで、本事業の趣旨・目的に関心のある企業や対象者に効果的なリーチを図る。

また、本事業の実施及び周知を行うにあたり、本事業のコンセプトのデザイン (事業名、キャッチコピー等) 及びロゴマークを作成し、それを媒体に用いて発信するものとする。

SNS やその他受託者が有するノウハウやネットワーク、デジタルマーケティングを活用した効果的な広報を実施することも推奨する。

②ワークショップ参加について、社内チームでの参加を想定していることから（「6 参加ターゲット」）、企業や組織が社外研修として社員を送りだせるような工夫、仕立てとなるよう工夫すること。（経営者等、組織の代表者への広報・PRなど）

（6）アンケート

- ・各回終了後にアンケートを実施し、参加者の理解度を図りながら事業を実施すること。
- ・「7 成果指標」を確認できるような形式でアンケートを実施すること。

【努力目標】

（7）＜その他 事業目的の達成に資する独自企画・関連事業との連携＞

本事業の目的をより効果的に達成するため、前掲の各業務に加え、受託者の知見を活かした独自の施策を提案すること。

また、AI やデータサイエンスをテーマに開催する新潟市事業（日々是新）・新潟県事業（仮称：AIEXPO）を上手く活用することで、参加者の刺激に繋がり、より効果的な事業実施が図られるよう努めること。例えば、ワークショップの合間に事業の視察を挟み、ワークショップ内容に活かすなど。

詳細は、各事業の事務局及び実行委員会（新潟地域産業イベント実行委員会）と協議の上決定するものとし、実行委員会との連携に関しては、事務局が調整に協力するものとする。

※4 ビジネスイベント「日々是新」

参考URL：<https://www.hibikorearata-niigata.com/>

6 参加ターゲット・参加方法

生成 AI を活用したデータ分析への理解を深め、意思決定への活用を目指す、新潟市内に在住・通勤・通学する者（若手経営者やマネージャー層、ビジネスパーソンに加え、起業関心者やスタートアップ志向の人材等）を対象とする。

なお、スキル面においては、生成 AI に一度でも触れたことのある者、また Excel 等でデータ管理を行った経験がある者等、PC の利用が全くの初めてではない人とする。

また、学習内容の実務への定着を図る観点から、原則として1社あたり2～3名のチームでの参加を基本とする（個人での参加も可とする）。

参加チーム数の目安は17～20チーム程度とする。

7 成果指標

本事業が求める成果指標は以下のとおり。受託者においては、以下成果指標の達成を目標に、特段に留意して取り組むこと。

成果指標	目標数値
------	------

特別講師による基調講演を踏まえ、今後のプログラム内容について理解できた参加者の数	40名以上
本事業により AI ツールの利用にあたっての注意事項、データ活用の目的が理解できた参加者の数	20名以上
本事業により AI を用いた効果的なデータ分析の方法について理解し、ケーススタディにおいて実践できた参加者の数	20名以上
本事業により AI を用いた効果的なデータ分析の方法について理解し、自社の課題抽出に活用できた参加者の数	20名以上
本事業によりデータを基に意思決定ができ、実際に自社に持ち帰って実装・自走できる状態の参加企業数	5者以上
本事業において、事業目的をより効果的に達成するため、受託者の知見を活かした独自の施策を取り入れた。または関連事業との連携を取りながら事業を進められた。	(努力目標)

8 事業実施体制

(1) 実施責任者

受託者は本事業を推進する実施責任者を配置し、業務全般の進行管理や調整機能を一元化すること。

(2) 人員配置

業務を実施する担当者については、

- ① 実施責任者 : 1名
- ② 連続プログラムの講師 : 1名
- ③ (必要に応じて) 運営補助 : 1名

委託期間中、上記の担当に原則として同じ人員を割り当て、特別な理由がない限り、プロジェクトメンバーは固定化すること。なお、委託者が業務の進捗状況や業務内容について支障があると判断した場合、実施体制を含め速やかに対応策を検討すること。

(3) 言語

本業務に用いる言語は日本語とし、通訳等は介さずに委託者と意思疎通が図れる体制を構築すること。

(4) プログラム会場

市内における交通至便の会場とし、人数及び実施形式に十分に対応できるものとする。会場の選定・確保においては、新潟市が所管・運営する施設などを中心に事務局が行い、借上げに係る費用は事務局が負担する。

(5) 運営

連続プログラム実施の際、受付対応、プログラム当日の会場設営及び参加者への事前連絡は事務局にて行う。

(6) 業務場所

本業務委託に係る打合せは、原則として当財団事務所内の会議室またはオンライン会議システムにて実施する。

(7) 業務管理

受託者は、業務責任者のもと適正に業務管理を行い、定期的に本市に進捗状況を報告するとともに、本市の求めに応じて適宜説明、報告を行うこと。

9 成果物の納入等

受託者は、本業務完了後には、報告資料及び事業報告書を事務局に提出すること。

- ① 報告期限 令和9年2月26日(金)
- ② 記載事項 委託業務の実施内容に基づき、詳細は事務局と協議のうえ決定
- ③ 提出方法 事務局と協議のうえ決定
- ④ 提出場所 公益財団法人新潟市産業振興財団ビジネス支援センター
〒951-8061 新潟市中央区西堀通6番町866番地 NEXT21 12階

10 その他特記事項

受託者は、業務履行に当たり契約書に定めるもののほか、次の事項を遵守するものとする。

(1) 法令遵守

本業務の遂行に関しては、関係法令等を遵守すること。

(2) 一括再委託の禁止

受託者は、受託者が行う業務を一括して第三者に委託し、又は請け負わせることはできない。ただし、業務を効率的に行う上で必要と思われる業務については、市と協議の上、予め書面による承諾を得た場合は当該業務の一部を委託することを可とする。

(3) 個人情報保護

受託者又は受託者から再委託を受けた者が業務を行うにあたって個人情報を取り扱う場合には、個人情報保護法・新潟市個人情報保護条例に則り、その取扱いに十分留意し、漏えい、滅失及び毀損のないよう適切に管理すること。

(4) 守秘義務

受託者又は受託者から再委託を受けた者は、業務を行うにあたり知り得た秘密を他に漏らし、又は自己の利益のために利用することはできない。また、委託業務終了後も同様とする。

(5) 著作権等に係るもの

本事業の実施にあたり制作した成果品について生ずる一切の著作権は、全て事務局(公益財団法人新潟市産業振興財団)に帰属するものとする。第三者の著作物を使用する場合、事務局が成果品をいかに使用しても、第三者からの権利の主張がない状態で納品すること。

(6)その他

- ・本仕様書に定めのない事項及び本仕様書の記載内容に疑義が生じた場合は、事務局と協議のうえ決定する。
- ・業務完了後、受注者の責任に帰すべき理由による成果品の不良箇所が発見された場合は、速やかに監督職員が必要と認める訂正、補足、その他必要な措置を行うものとし、これに対する経費は受託者の負担とすること。